


活動プログラム	No.24	星空観察	
期待される効果			
プログラム概要	都市部では街の灯りなどで見るできない星空の美しさを感じ、観察を通して宇宙の不思議さに触れ、星々に対する興味を深めることができます。		
対象	どなたでも可	人数	何人でも可 (天文台室収容人数40人)
時期	通年(天候による) 積雪期は天文台の大型望遠鏡を使用することはできません	場所	屋上や天文台 玄関前やキャンプ場など
金額	無料	大人の人数	屋外に出る場合は、20人に1人ぐらい

準備物	団体ごと	屋外に出る場合懐中電灯、救急バッグ
	服装 個人装備	寒くない格好 (季節によっては、天文台室や屋外が冷え込みます)
美方高原で レンタル可能な物		40cm反射望遠鏡、8mmの望遠鏡、星座早見盤、双眼鏡 屋外で寝転ぶ時用のマット

活動のタイムスケジュール(例)

時間	運営	安全上のポイント
20:00	大研修室やミーティングスペースなどに集まり天文台室などに移動します。	天文台室の階段が急で薄暗いため、上り下りでは注意するよう声掛けをする。
20:10	【天文台を使用する場合】 一人ずつ交代しながら、望遠鏡を覗いて星を見ます。 【以下のような内容も追加できます】 ・実際に見えている星についてのお話 ・季節の星座のお話、星クイズ など ※交代で屋上で星座早見盤を使って星座を探したりすることもできます。	満月などを見る際には、目を傷めないようレンズにフィルターを装着する。 屋上で実際に星を見る場合には、暗いため足元や周囲の障害物などに注意して行動する。
21:00	終了・ふりかえり	

補足ポイント

- 季節や時間によって、見える星々や位置が変化し、1年を通じて楽しむことができます。
- 月の観察であれば、グループに1つ双眼鏡を持って屋上や屋外で観察をすることもできます。
- 所要時間や内容については、天文台室だけではなく、研修室や屋上・グラウンドなども使うことでご希望に合った内容で実施することができます。
- 雲の状況によっては、全員が望遠鏡を覗いて星を見るできないこともあります。
- 講師派遣が必要な場合には、どのような天体観測を希望されるのかを施設職員にお伝えください。
- 星の観察がしにくくなるため、懐中電灯などを使って必要以上に明かりをつけないようにしてください。
- 天文台の大型望遠鏡は、施設職員以外使用できません。毎日20時より天体観望会を開催しています。

活動 プログラム	No.24	星空観察
-------------	-------	------

予期されるリスク	リスクに対する対応
観察場所の確認	屋外に出る場合には、周囲に危険な状況がないか、観察場所を事前確認する。
体の冷え	気温が下がる可能性がある為、温かい服装をさせる。
天候不良	屋外に出る場合は、当日の天候や予測を確認し、著しく悪化する場合はプログラムの時間変更、もしくは中止する。
その他のケガ、体調不良	救急バックを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。

事前点検・準備事項
活動場所は安全に歩き回れる状態であるか。
天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。
参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は入っているか。
運営方法やタイムスケジュールは明確で共有されているか。
施設準備物は使用可能な状態か。または数は揃っているか。
参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行ったか。

活動時のインストラクション（必須事項）
屋外に出る場合は、必ずグループで行動すること。
足場を確認して進み、捻挫などに気をつけること。特に階段下りは十分に気をつけ走らないこと。
衣服での体温調節を行うこと。